

ジャムの開発・販売で工賃アップを目指す

兵庫県社会福祉事業団 丹南精明園（丹波篠山市）



経緯

- ・平成25年に丹南精明園直営の就労継続支援B型事業所「丹波丹（まごころ）ファーム」において、農地を借りてハウス2棟でトマトとイチゴの栽培を開始。
- ・イチゴ栽培では、本圃を腰高の位置で作りと、栽培管理や収穫をしやすくした高設栽培を採用。販売先は市内の和洋菓子店等。当初の販売量は引き取ってもらう程度の少量であったが、徐々にイチゴの品質が向上するに連れ販売量も増え、経営の柱となる。

取組内容

- ・令和3年、商品開発などの専門アドバイザーの支援が受けられる県の「障害者工賃向上支援アドバイザー派遣事業」を活用。神戸の人気洋菓子店のオーナーシェフの監修により、イチゴなどを使ったジャムの開発に取り組む。
- ・丹波、神戸の新鮮食材を使った「イチゴジャム」（事業所直営のハウスイチゴを使用）、「ミルクジャム」（地元の牛乳を使用）、「イチジクジャム」（神戸市西区産イチジクを使用）の3種類のジャムを同年10月からネットショップ、道の駅等で販売。
- ・同年11月開催の県内の障害者事業所で作られた菓子のコンテスト「ひょうごスイーツ甲子園」（主催：兵庫県）に応募し、同園が出品した3種類のジャムがグランプリを受賞。

今後の展望等

- ・同園は令和7年に丹波市内の病院跡地へ移転する予定としている。移転後は、敷地内でイチゴのハウス栽培を継続していくことを検討。また、ブルーベリーのハウス栽培などを展開する予定。ブルーベリーは収穫できるまで3年を要するため、現在鉢植えで育成しているところ。
- ・県内の農福連携の拡大拠点とし、工賃の底上げを図り、平均月額は最低1万5千円を目指したい。

2022年7月20日調査